
La?Campanella

ごろー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

La? Campanella

【著者名】

ジョー

N8805M

【あらすじ】

また、鐘の音は今日も鳴る。

また、鐘の音は今日も鳴る。

ラ・カンパネルラ。それは悲しき調べ。
ラ・カンパネルラ。それは可憐な調べ。

彼女は見えない何かを掴むように、窓の外へと手を伸ばす。あるのは先の見えない定めとそれに打ち震えるちいさな心だけ。そんな彼女を嘲笑うかの様に、白い鳥は優雅に目の前を通り過ぎてゆく。

今、鐘の音が凜と鳴る。

ラ・カンパネルラ。それは冷たく響く。
ラ・カンパネルラ。それは優しく響く。

人々は明日へと歩みを進め、思い出は過去に居座り続ける。幾ら思い出に未練があるつとも、過去に縋つて生きてゆくなど到底不可能、妄執に囚われていれば、何れ其れは己に牙を向くだろう。

ほら、鐘の音は幾度も鳴る。

ラ・カンパネルラ。それは切迫した音の滝。
ラ・カンパネルラ。それは優雅な音の流れ。

川は止めど無く、海は緩やかに空の青を映す。無い筈の色は光のスペクトルの中で静かにその実体を得る。故に色は未熟、故に色は純

粹。それは我等が心の様に、ただ収穫の時を待つ。

L a c a m p a n e l l a s u o n e r ? d i n u o v o
d o m a n i .

(鐘の音は明日も又鳴るのだろう。)

ラ・カンパネルラ。それはけざやかな音の爆発。

ラ・カンパネルラ。それは静かな音の湖。

ラ・カンパネルラ。それは悲しき調べ。

ラ・カンパネルラ。それは可憐な調べ。

甘い一律背反は泡沫の安らぎを呼び、哀しみの矛盾は永久の苦悩を
a n t i l o g i a
描く。それに苛まれるのが人の性であるならば、何故この鐘の音は
ここまで私の心を搔き乱すのだろうか？

(後書き)

構想5分の問題作。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8805m/>

La?Campanella

2010年10月10日05時37分発行